

海外駐在員として12年目(3回目)となり、ますますコミュニケーションの重要性を感じています。日本との違いは、まず第一に言語が違うことです。次に文化・歴史的背景の違いが挙げられると思います。私が常に心掛けていることは、「自ら明るく積極的に」「表現はシンプルかつ丁寧に」「相手の立場に立って話をしっかりと聞く」の3点です。

・「自ら明るく積極的に」

海外では特に相手に対して積極的にアプローチすることが重要です。受身では相手にわかってもらえません。

・「表現はシンプルかつ丁寧に」

相手が2つ以上の意味に取ることができるといえる言い回しは避け、できる限り丁寧な言葉遣いをするよう注意しています。

・「相手の立場に立って話をしっかりと聞く」

相手の話を誠実に聞いて理解する、またそのことが相手に伝わるよう心掛けています(一般的に日本人は相槌が少ないと言われており、これは相手を極めて不安にさせます)。

相手のことを思う気持ちが根底にあれば、海外でも日本でもコミュニケーションは上手くいくと思います。TMM LA オフィスのスローガンである「お客様と最高の関係を築く」を実行するためにも、まずは社内外での円滑なコミュニケーションが最重要と考えており、引き続き心掛けていきたいと思っています。

言葉は違えど



職場の同僚と一緒に。中央が本人

Tokio Marine Management, Inc. (TMM)

米国支店(在ロサンゼルス)駐在員

三木 晋吉さん

<紹介者のコメント>



米国支店(在ロサンゼルス)

駐在員 **池田 博之**さん

三木さんが「達人」と呼ばれるゆえんは「傾聴」の姿勢にあるのではないかと思います。ローカルスタッフとの面談でも、この「傾聴」を常に心掛けているように見受けられます。